

第380号

2013年

9月29日

# どついたニュース

全損保日動外勤支部

東京都中央区銀座5-13-7

東銀座東京海上日動ビル1階

電話 03-3542-9857

FAX 03-3542-9858

教宣部 発行

## 支部定期大会開催

### 日動外勤支部らしさを発揮し、将来にたちむかって行こう

第135回支部定期大会が、9月7日（土）、東京の中央大学駿河台記念館で開催されました。大会では、これまでのたたかひの経過報告や交渉課題などについて、執行部より説明があり、2014年度の運動方針が提起されました。課題として残る、業績賞与算出スキームについて、働くもののがんばりが反映される仕組みとしていくために、職場から声を上げていこうとの提起がなされました。組合員からはどのようにして組織に結集していくのか、どのように運動をすすめていくのか、といった基本に立ち返った意見も出され、あらためてこの組織に結集する意義が確認されました。特に等級格付け問題の解決については、たたかひを積み重ねてきた結果であり、全員の団結の結果であるという意見も出され、議案はすべて全会一致で可決・承認されました。また直近で代理店になった奥田さんからは、この組織の重要性について、京都の森さんからも組織に結集してコミュニケーションをとりながら頑張れとのメッセージも寄せられ、先輩たちの思いを引き継いでいくことの重要性も痛感する大会となりました。3年間の澤田執行部の運動を基軸に2014年度もさらに運動を押しすすめていきましょう。大会決議は次ページに掲載しています。

新執行部は以下の通り。

執行委員長	川田 隆彦
副執行委員長	及川 肇
副執行委員長	竹田 典央
書記長	田中 健一
副書記長	中嶋 尚正
執行委員	天野 秀樹
執行委員	小野寺 信一

以 上

## 日動外勤支部らしさを発揮し、「将来」にたちむかって結集する決議（案）

政治情勢は7月21日の参議院選挙で自民党が圧勝し、衆議院とのねじれが解消したと評価されているが、投票率は戦後3番目の低さで決して国民全体が自公政権を支持したとは言いきれない。また、政府のすすめるアベノミクス効果は一部の大企業に恩恵をもたらしているものの、中小企業や国民・消費者のレベルでは単に物価上昇をもたらしているだけの状況となっている。このようななかで政府は消費税の段階的な引き上げを秋までに具体的に検討をすすめるとし、また憲法の改定では国民投票に至る改定について、国会の3分の2以上から2分の1に引き下げようとしている。これは、今、国民・消費者が求めているものではなく、政府の言う、デフレ脱却、所得の増加の実感にはほど遠い状況が続いている。

和解から3年、私たちは労働環境の整備や、和解に基づいた運用を会社に求め、たたかいをすすめてきた。職場環境については一定の改善が図られ、等級格付け問題についても時間はかかったものの、異議申請交渉を毎年積み重ね、今春闘においては要求項目のなかにも盛り込むことによって、解決することができた。また、業績賞与スキームの改定についても、年収の4割を占める臨給の3分の1が業績賞与では、生活給として位置づけられず、従業員の頑張りに見合った制度とするよう求めてきた。職場でもこのスキームの問題点を社内世論に訴える取りくみをすすめ、私たちができることは何かを考え、運動をすすめてきた。

これまでわたしたちは、全組合員の声と思いを共有し、たたかいをすすめてきた。これからも、和解条項の公正・公平な運用を求めていくことはもちろん、組合員がこの組織に結集すると同時に、職場からも声を上げること、広く社内世論に訴えていくことで、組織としての力量もアップすると確信する。

今定期大会では、たたかいについて、2014年度の運動方針が豊かに補強・補足された。企業の論理で押し付けられる施策に対し、働く者が大切にされ、働きがいを感じられるよう、会社をただしていくことが、今まさに労働組合に求められている。全員で知恵を絞り、議論を尽くして、一歩ずつ進んでいこうではないか。

全損保の旗のもと、自分たちができることは何かを主体的に考え、全員で行動していく日動外勤支部らしさを発揮し、「将来」にたちむかって結集していこう。

2013年9月7日 全損保日動火災外勤支部  
第135回定期大会